

やりたいこと（能力の有無にかかわらず、仕事として関心があること）	やりたくないこと（能力の有無にかかわらず、仕事として避けたいこと）
得意なこと（チームの他の人より生産性や成果が高いと思うこと）	苦手なこと（チームの他の人より時間がかかる、成果を出しにくいと思うこと）

具体的な仕事内容でも、「●●すること」のようなイメージでも自由に、できるだけたくさん記載してください

どう使うの？

まずは全員が10分間で記入するだけ。

個人の思い込みでは気付かなかった「得意・不得意」と、チーム全体の偏りが見えてきます。

- ・ チームのメンバーに一人一枚シートを渡し自由に記載してもらってください。
※3～10名弱ていどのチームで利用してください。大人数には向きません
- ・ 記載された内容で「得意なこと」「苦手なこと」は本人の思い込みでないか定量的に精査してください。
記載内容が事実と異なる場合は訂正してください。
- ・ 全員の訂正が完了したら、新しいシートに全員分の内容を記載してください。
同じ内容・似た内容はすべて記載する必要はなく、正の字でカウントするなどし「重複があるかどうか」が分かるようにしてください。
- ・ 全員分の内容を記載することで、チームが「どんなことをしたがつている人が多いのか」「チームとして不足しているスキルがある・あるいは似た能力の人ばかりになっている」ことが可視化できます。
- ・ 可視化した内容から、以下のように活用できます。

何ができるの？

個人ごとには「やりたいけれど得意じゃない」「業務が苦手なことに集中している」をカイゼン。

チーム全体では「特定の業務が誰かに集中している」「今のメンバーにはここが足りない」をカイゼン。

- ・ それぞれのやりたいこと・得意なことを認識して、担当業務と役割分担を再設計
- ・ 「得意だがやりたくない」業務が一人に集中しないよう、量や頻度を調整
- ・ 「やりたいけれど得意ではない」業務を見つけ、主担当ではなく補助業務に回す
- ・ 誰もやりたくない必須業務は当番制・分業・自動化
- ・ 誰にもCANがない必須業務について、採用・異動・外注のどれで補完するかを決める
- ・ できることが数人で重複して不足業務へ再配置す
- ・ 本人の自己認識と実態が大きくずれる業務を再配置して効率化
- ・ 新規採用では「チームに不足している得意なこと・きること」を要件に
- ・ 管理職が経験や印象だけで仕事を割り振る状態を改善
- ・ 新規事業や新業務を始める際に、現チームで実行可能か、採用・外注が必要か判断
- ・ 人的リソースから現事業を続けられるか・続けるべきか判断する

